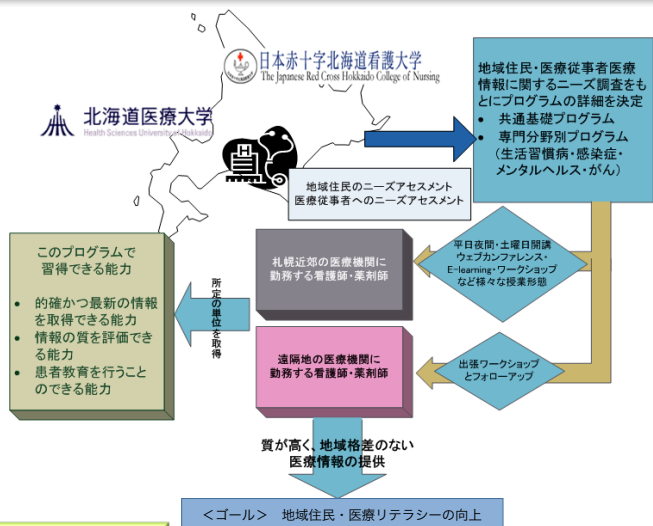


地域格差のない医療情報提供のための薬剤師・看護師教育プログラム

申請代表校：北海道医療大学

目的

臨床現場において地域住民が治療における意思決定のため、疾患及び治療の理解を含めた医療情報リテラシーの向上が重要となってきた。しかし医療情報を提供する側、特に遠隔地の臨床現場で働く薬剤師・看護師の情報スキルの問題があり、医療情報提供が十分といえる状況ではない。本事業の目的は地域格差のない医療情報を住民に提供するため、臨床現場で働く薬剤師・看護師が最新の情報を入手できる能力育成を目的とした教育プログラム提供である。対象は臨床現場で勤務する薬剤師・看護師とし、特に近隣に医療系大学がない遠隔地の医療機関に勤務する者に焦点を当てる。



教育方法

本プログラムでは、共通基礎プログラムにおいて、質の高い文献入手方法、患者教育を行うことのできる能力を培う。共通基礎プログラム修了者は専門分野を選択し、専門分野別の学習を行う。効果的な授業のため、講義形式、ワークショップ、ウェブカンファレンス、e-learningなど多様な授業方式を採用する。プログラム修了者には、地域でのリーダーとして活躍できるよう継続的に支援していく。

事業のニーズ

道内における薬剤師・看護師の医療情報入手に関する現状は、調査結果から、以下のことが明らかになっている。

- ◆情報リソースの選択からアクセスに至るまで、様々な障壁がある。
- ◆医療系大学の有無による地域格差が見られ、入手情報に対する満足度が低い。
- ◆地域住民からの医療情報ニーズの高まりを感じているが、十分に応じられていない。
- ◆多くの薬剤師の情報入手先はMRやインターネット上の情報であり、バイアスのある情報に対し、不安を抱えている。
- ◆看護師では医中誌Web等のデータベースにアクセスしたことがある者は10%以下であった。薬剤師・看護師共に信頼できる情報源へのアクセスの方法に関する教育を望んでいる。

プログラムの内容

共通基礎プログラム

コンピュータスキル向上プログラム

目標: 情報取得に必要な不可欠なコンピュータの基礎、患者教育に必要なプレゼンテーションソフトの使用方法を学習する。

- 第1回: コンピュータ操作の基礎
- 第2回: インターネットの基礎
- 第3回: プレゼンテーションの作成

情報検索スキル向上プログラム

目標: 情報取得のためのデータベースを用いた情報検索方法を学習する。

- 第1回: データベースアクセスの基礎・講義と演習
- 第2回: 医療情報検索の基礎・講義と演習
- 第3回: 薬剤情報検索の基礎・講義と演習

情報の質評価スキル向上プログラム

目標: 取得した情報の信頼性・妥当性が検討できる能力を学習する。

- 第1回: エビデンスに基づいた医療提供とは何か?
- 第2回: 文献クリティークの基礎
- 第3回: 地域における臨床研究の基礎

患者教育スキル向上プログラム

目標: 取得した質の高い情報をもとに患者教育を行うことのできる能力を学習する。

- 第1回: 患者が求める医療情報と医療情報リテラシー<公開講座>
- 第2回: 患者教育の基礎<公開講座>
- 第3回: 医療情報入手の基礎

専門分野別プログラム (以下の内、1テーマを選択)

テーマ1【生活習慣病:メタボリックシンドローム】

目標: 生活習慣病に関する最新の医学的知識、地域住民を取り巻く状況、そして最新の情報収集方法を学習する。また、患者教育について演習を通して学習する。

- 第1回: 生活習慣病に関する最新の医学的知識とその情報収集方法
- 第2回: 地域における医療情報の集積と生活習慣病の予防と治療
- 第3回: 情報検索演習
- 第4回: 患者教育演習

テーマ2【感染症:多剤耐性感染症】

目標: 感染症、特に医療関連感染症に関する最新の知識、医療関連施設における発生状況、最新の情報収集方法を学習する。また、医療関連感染症に関する医療関連施設と地域住民のコミュニケーションのあり方を演習を通して学習する。

- 第1回: 感染症と医療関連感染症発生状況
- 第2回: 多剤耐性感染症と抗菌薬の適正使用
- 第3回: リスクコミュニケーション演習
- 第4回: リスクコミュニケーション演習

テーマ3【メンタルヘルス:認知症】

目標: 認知症に関する最新の知識、地域住民を取り巻く状況、最新の情報収集方法を学習する。また、認知症の人が安心できる医療環境をつくるためにも、認知症の人の理解に向けた演習を通して学習する。

- 第1回: 認知症に関する最新の知識とその情報収集方法
- 第2回: 認知症と薬物治療
- 第3回: 認知症の人の理解に向けた演習
- 第4回: 認知症の人の理解に向けた演習

テーマ4【がん:化学療法と副作用マネジメント】

目標: がんに関する最新の治療に関する知識、地域住民を取り巻くがん治療状況、最新の治療に関する情報収集方法を学習する。また、患者教育について演習を通して学習する。

- 第1回: がん治療に関する最新の知識とその情報収集方法
- 第2回: 抗がん剤の特性と副作用対策
- 第3回: 情報検索演習
- 第4回: 患者教育演習

評価: 受講者からの評価及び第3者による評価委員会を作り、本事業が臨床現場の薬剤師・看護師にとって妥当な内容となっているか評価していく。